

◀2015年 名古屋工業大学(前期)▶

1

- (1) $x \geq 1$ のとき, 不等式 $2\sqrt{x} > 1 + \log x$ が成り立つことを証明せよ.
- (2) 関数 $y = x \log x$ ($x > 0$) のグラフを曲線 C とする. 定数 a に対し, 曲線 C の接線で点 $(a, 0)$ を通るものは何本あるか.
- (3) (2) で定められた曲線 C とその傾き 2 の接線および直線 $x = e^{-2}$ で囲まれた部分の面積を求めよ.

2

2つの関数

$$f(x) = \frac{2}{2x+3}, \quad g(x) = \frac{2x+1}{-x+2}$$

がある.

- (1) 関数 $g(x)$ の逆関数 $g^{-1}(x)$ を求めよ.
- (2) 合成関数 $g^{-1}(f(g(x)))$ を求めよ.
- (3) 実数 c が無理数であるとき, $f(c)$ は無理数であることを証明せよ.
- (4) 次の条件によって定められる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ.

$$a_1 = g(\sqrt{2}), \quad a_{n+1} = f(a_n) \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

- (5) (4) で定められた数列 $\{a_n\}$ の極限 $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$ を求めよ.

3

- (1) 次の5つの定積分を求めよ. ((2) (iv) で用いる.)

$$I_1 = \int_0^\pi x \sin x \, dx, \quad I_2 = \int_0^\pi x^2 \cos x \, dx, \quad I_3 = \int_0^\pi \sin^2 x \, dx$$

$$I_4 = \int_0^\pi x \cos x \sin x \, dx, \quad I_5 = \int_0^\pi \sin^2 x \cos x \, dx$$

- (2) 関数 $y = \sin x$ のグラフを曲線 C とする. C 上の点 $O(0, 0)$ における接線を ℓ_1 , 点 $A(\pi, 0)$ における接線を ℓ_2 とする.

ℓ_1 と ℓ_2 の交点を B , C 上の点 $P(t, \sin t)$ ($0 \leq t \leq \pi$) から ℓ_1 に下ろした垂線を PQ とする. ただし, $t = 0$ のときは $Q = P$ とする. $OQ = s$ とおく.

- (i) $\angle OBA$ の大きさを求めよ.
- (ii) s を t を用いて表せ.
- (iii) 線分 PQ の長さを t を用いて表せ.
- (iv) 曲線 C と 2 直線 ℓ_1, ℓ_2 で囲まれた部分を, 直線 ℓ_1 の周りに 1 回転させてできる立体の体積 V を求めよ.

4

四面体 $ABCD$ は

$$(ア) \quad BA = \sqrt{66}, \quad BC = 7, \quad BD = \sqrt{65}$$

$$(イ) \quad \vec{BA} \cdot \vec{BC} = 28, \quad \vec{BC} \cdot \vec{BD} = 35, \quad \vec{BD} \cdot \vec{BA} = 40$$

を満たす. 頂点 A から平面 BCD に下ろした垂線を AH とする.

- (1) 辺 AC の長さを求めよ.
- (2) \vec{BH} を \vec{BC}, \vec{BD} を用いて表せ.
- (3) 線分 CH の長さを求めよ.
- (4) 面 ABC を直線 AH の周りに 1 回転させるとき, 面 ABC が通過する部分の体積 V を求めよ.

出題範囲と難易度

- 1 標準 III 微分法の応用
- 2 標準 III 関数・数列の極限
- 3 標準 III 積分法の応用
- 4 標準 B ベクトル(空間)

略解

1 (1) 証明は省略

$$(2) \begin{cases} a > 1 \text{ のとき} & 2 \text{ 本} \\ a < 0, a = 1 \text{ のとき} & 1 \text{ 本} \\ 0 \leq a < 1 \text{ のとき} & 0 \text{ 本} \end{cases}$$

$$(3) \frac{1}{4e^4} (e^6 - 4e^3 + 9)$$

2 (1) $g^{-1}(x) = \frac{2x-1}{x+2}$

$$(2) g^{-1}(f(g(x))) = -\frac{1}{4}x$$

(3) 証明は省略

$$(4) a_n = \frac{2\sqrt{2}\left(-\frac{1}{4}\right)^{n-1} + 1}{-\sqrt{2}\left(-\frac{1}{4}\right)^{n-1} + 2}$$

$$(5) \frac{1}{2}$$

3 (1) $I_1 = \pi, I_2 = -2\pi, I_3 = \frac{\pi}{2}, I_4 = -\frac{\pi}{4}, I_5 = 0$

$$(2) (i) \angle OBA = \frac{\pi}{2}$$

$$(ii) s = \frac{t + \sin t}{\sqrt{2}}$$

$$(iii) PQ = \frac{t - \sin t}{\sqrt{2}}$$

$$(iv) V = \frac{\pi^2}{6\sqrt{2}}(\pi^2 - 9)$$

4 (1) $AC = \sqrt{59}$

$$(2) \vec{BH} = \frac{3}{14}\vec{BC} + \frac{1}{2}\vec{BD}$$

$$(3) CH = \sqrt{19}$$

$$(4) V = \frac{32\sqrt{10}}{3}\pi$$